令和6年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名



茨城県 土木部都市局 下水道課

団体区分(混成の場合は複数図)

☑行政

□民間

□学校·NPO·個人等

取組名

「つながれ!きれいな水を未来まで!」*-未来を担うこどもたちへの PR プロジェクト-*

責任者 (実際に広報に取り組んだチームの代表者)

氏 名:向後 颯斗

所 属: 茨城県土木部都市局下水道課企画 G

電 話: 029-301-4681

E-mail: ha.kougo@pref.ibaraki.lg.jp

担当チームの構成(外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい)

企画・運営: 茨城県下水道課

協力団体 : 茨城県下水道整備促進協議会、全国町村下水道推進協議会茨城県支部、茨城県下水道協会

43市町村(市町村下水道担当課の皆様、学校関係者の皆様)

取組のポイント(一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい)



- 県の役割として、市町村を跨る広域的な PR を実施
- 県内市町村の下水道課を通じて、各市町村の教育分野と連携
- こどもたちへ「水の大切さや下水道の働き」について、クイズや 実験を交えた「楽しく学べる」出前講座を実施
- 下水道への理解をさらに深めてもらうため、<u>県独自で</u>小中学校向けの 「茨城県下水道促進週間コンクール」を開催

アピールポイント

- 令和5年度は、43市町村と連携し、県内の小学校42校約2,300人に対して出前講座を実施
- 学生や教師等の要望に応じ、マンホールトイレ等 近年のトレンドに対応した講義を実施
- 小学生からのお手紙では、「び生物が水をきれいにしていることが分かった」や「きれいな水を大切にしていきたい」等、下水道や環境保全分野への関心の高まりを感じる感想が多数寄せられた。
- 茨城県下水道促進週間コンクールでは県内の小中学校から約 30,000 点を超える応募があった。 (県内の小中学生数 約20万人)

要したコスト

総額32万円(主にコンクールの開催費用)

【内訳】

コンクール審査・表彰式の会場費 : 10 万円 コンクールの表彰状・副賞等 : 15 万円 作品集・写真撮影等 : 7 万円

取組の概要 (適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい)

1 県内の教育機関との連携

- ・出前講座やコンクール実施の際には、市町村の下水道課担当課と連携し、各市町村の小学校に情報提供を実施
- ・出前講座の内容については、学生や教師の要望に応じて、<u>柔軟に変</u> 更し、興味・関心をもってもらえるように配慮

2 出前講座の実施

- ・出前講座は、R4年度から本格実施
- ・出前講座の実施にあたっては、なるべく多くの小学生に授業が行えるよう、本庁、出先機関(5事務所)総出で対応
- ・「水の大切さや下水道の働き」に興味をもらってもらえるように、

クイズや実験を交えた講義を実施

・令和6年度は、学生等からの要望に合わせて「マンホールトイレ」 や「下水道処理場での仕事内容」について講座を実施

<出前講座の様子 -クイズ実施時- >





3 茨城県下水道促進週間コンクールの開催

- ・茨城県下水道促進週間コンクールは S51 年から開催しており、R6 年度で 49 回目の実施となった。
- ・県内の小中学校へ周知し、絵画・ポスター及び新聞、書道の3部門の作品を募集
- ・2度の審査会を行い、各部門ごとに受賞作品を決定し、後日、表彰式典を開催。
- ・毎年度、受賞作品を掲載した「コンクール作品集」を作成



く コンクール審査会 >



く 表彰の様子 >



<受賞者 集合写真>

成果(数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい)

○出前講座

- ・令和5年度は、43市町村と連携し、県内の<u>小学校42校約2,300人</u> に対して出前講座を実施
- ・令和6年度は、小学生から感想を含めたお礼のお手紙を約300枚いただき、内容から下水道や環境保全分野への関心の高まりを実感

○茨城県下水道促進週間コンクール

- ・茨城県下水道促進週間コンクールでは<u>県</u>内の小中学校から約 28,000 点を超える応募(県内の小中学生数 約20万人)
- ※茨城県の出品数は、全国規模である「下水道いろいろコンクール」の約半数を占める。
- ・茨城県はこれからも、未来を担うこどもたちへの下水道 PR 活動に全力で取り組みます!

<ごどもたちから頂いたお手紙>

